



病院完成図 (イメージ)

## “心”と“技術” そして“人を癒す空間”を極める

地域医療の新たな拠点作りの実現を目指し、昨年、既に移転が完了した福岡国際医療福祉学院に続き、今春(2009年5月上旬)福岡山王病院が開院します。

医療法人社団 高邦会が福岡市中央区大名で運営中の福岡中央病院をももち浜に移転。  
充実したアメニティや最先端の医療機器を備えた、全室個室の病院に大きく生まれ変わります。

### 多種多様な患者様のニーズに応えるアメニティ

患者さん中心の医療の実践を目指して設立される本病院は、全診療科を備え、PET-CT(16列MD、MRI(3.0T)等の最新設備も多数導入されます。  
手術室も9室用意、急性期医療を提供する病院として、最新の医療体制を確立していきます。

また、予防医学部門では、1フロアを人間ドック専門とし、標準的な検査はワンフロアでおこなうことができ、リハビリ部門は1400㎡(そのうち640㎡はリハビリテラス)の総面積を誇り、福岡市内のリハビリ専門病院にも引けを取りません。

福岡山王病院の最大の特長は、多種多様な患者さんのニーズに応えられる、充実したアメニティにあり、病棟は全室個室、患者さんの人権を尊重し、心安らく快適な療養環境を重要視した設計となっています。

### 大量のトラフィック処理が課題

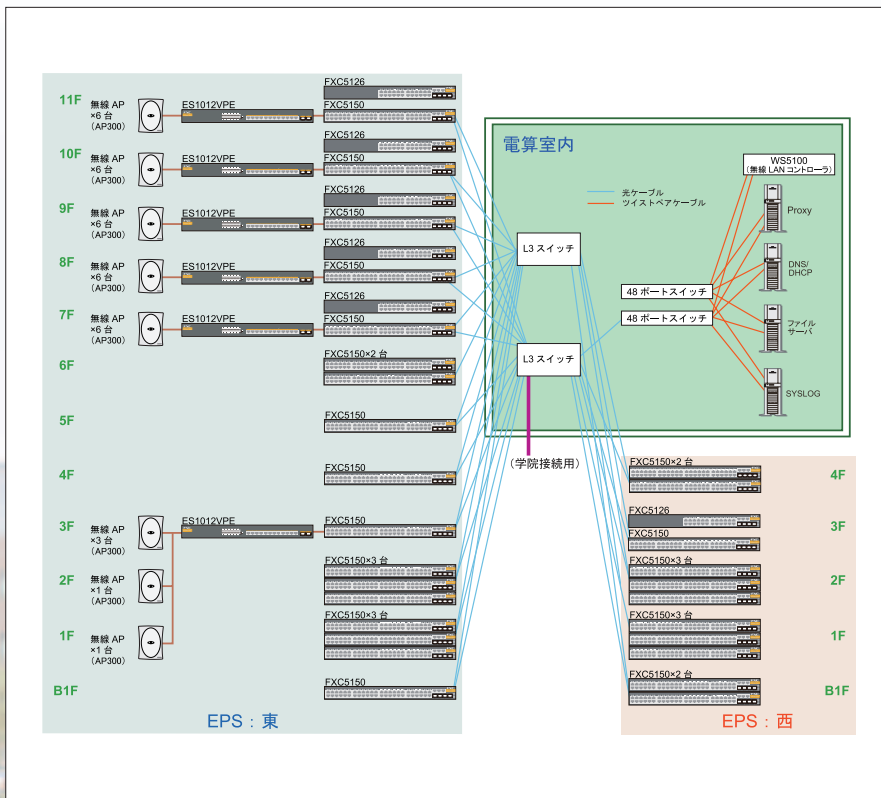
病院ネットワークは電子カルテシステムが主な用途となります。  
常に流れ続ける画像データ、検査データで、大量のトラフィック確保と安定性が求められます。  
病院の運用にかかわるほとんど全てのデータはネットワークを介してやり取りされるのでその重要性は計り知れません。  
この重要なネットワークの主要部分でFXC製スイッチが使われます。

ネットワーク構築をおこなった株式会社富士通ビジネスシステム(FJB) 衛藤様のお話では、今回一番苦労したことは、進行する建設工事との兼ね合いだったそうです。  
工事の進行状況によっては、建物内に入ることができない期間などあり、スケジュール調整などで大変苦労されたようです。

設定自体は、VLANにより細かなアクセス管理が可能で、非常に効率のよいネットワークを組むことができたそうです。

ネットワークの実稼働は5月からになりますが、設定、試験運用においては、FXC製スイッチに概ね満足いただけているようです。

新しい医療拠点で始まる、新しい地域医療、その素晴らしいプロジェクトを、我々FXC社員と製品も、縁の下の力持ち的に支えていければ素晴らしいことだと思います。



●医療法人社団 高邦会 百道浜準備本部 課長 西田孝治様 (左)  
●国際医療福祉大学・高邦会グループ 学校法人高木学園 福岡国際医療福祉学院 広報室室長 池 扶可也様 (中央)  
●国際医療福祉大学・高邦会グループ 学校法人高木学園 福岡国際医療福祉学院 事務課長 田邊吉男様 (右)



●医療法人社団 高邦会 高木病院 情報システム室 中田 厚様 (左)  
●医療法人社団 高邦会 高木病院 情報システム室 室長代理 池上春彦様 (中央)  
●医療法人社団 高邦会 高木病院 医事課 情報システム係 田中茂好様 (右)

■株式会社富士通ビジネスシステム (FJB) <http://www.fjb.fujitsu.com/>  
「Best Solution & Best Partner」をコポレートメッセージに、コンサルティングからシステム構築、ソフト開発、運用支援、保守、サポート、工事、教育までのトータルソリューションをワンストップで提供しています。

■福岡国際医療福祉学院 <http://www.takagigakuen.ac.jp/fukuoka/>  
福岡市の中心に位置する天神で生まれ育った福岡国際医療福祉学院は、このほど、教育・医療・福祉が一体となった地域医療の新たな拠点づくりを、福岡市で実現するためシーサイドももちに移転しました。  
ももちという新都心で、より強く、そして美しく生まれ変わります。

■福岡山王病院 <http://www.kouhoukai.org/>  
2009年5月、高邦会グループの「福岡山王病院」が福岡市早良区百道浜に開院いたします。  
“生命の尊厳、生命の平等”を病院の理念として掲げ、優秀な医療スタッフや最新の高度医療機器としてアメニティの3つを柱とし、質の高い医療サービスを皆様にご提供したいと考えています。

■国際医療福祉大学・高邦会グループ <http://www.uhw.ac.jp/IHWG/>  
福岡県に医療法人社団 高邦会、社会福祉法人高邦福祉会、学校法人高木学園、栃木県には学校法人国際医療福祉大学、社会福祉法人邦友会を有し、東京都には医療法人財団順和会等を展開。同質で大規模なフランチャイズ展開ではなく、大学および大学院の教育・研究を中核とし、それぞれに特徴ある各施設が連携を組むことで、あらゆる医療福祉のニーズに最高レベルで応える複合体を志しています。